

News Release

2020年2月28日
株式会社日本政策投資銀行

中央化学（株）に対し、 「DBJ環境格付」に基づく融資を実施

株式会社日本政策投資銀行（以下「DBJ」という。）は、中央化学株式会社（本社：埼玉県鴻巣市、代表取締役社長：近藤康正、以下「当社」という。）に対し、「DBJ環境格付」に基づく融資を実施しました。

「DBJ環境格付」融資は、DBJが開発したスクリーニングシステム（格付システム）により企業の環境経営度を評点化、優れた企業を選定し、得点に応じて融資条件を設定するという世界で初めての融資メニューです。

当社は、1961年の創業以降、プラスチック食品容器包装業界のパイオニアとして、技術開発に重きを置き、様々な素材・製品を開発してきました。石油資源の使用を抑えた「タルファー」、食品ロスを抑える「ロングライフ容器」、再生原料を用いた「C-APG」等、環境配慮型の製品にも注力し、生活と文化をサポートするグローバル・インダストリーとして、環境に配慮した企業経営を行っています。

今回の格付では、以下の点を高く評価しました。

- (1) 再生ペット原料の積極利用や石油由来資源の使用抑制、食品のロングライフ化に資する機能材の開発等、本業を通じて環境課題の解決に貢献している点
- (2) 2018年10月に社長直轄組織として事業推進室を新設し、全社一丸となりオペレーション改革に取り組んでおり、事業基盤となる生産活動において更なる効率化や環境改善を実現している点
- (3) 小売店や地域のリサイクル事業者と連携し、使用済み食品トレーの回収および再資源化に過去から継続的に取り組んでいることに加え、海洋プラスチックごみ問題等の社会課題に対しても、CLOMA等のイニシアティブへの参加を通じて、解決に向けた検討を進めている点

その結果、当社は「環境への配慮に対する取り組みが十分」という格付を取得しました。

DBJは、企業理念「金融力で未来をデザインします～金融フロンティアの弛まぬ開拓を通じて、お客様及び社会の課題を解決し、日本と世界の持続的発展を実現します～」に基づき、環境配慮型経営に向けたお客様の取り組みを積極的に支援してまいります。

【お問い合わせ先】

企業金融第1部 電話番号 03-3244-1680